

# 2019 年度 学年大会要項

1. 主 催 ・ 墨田区サッカー協会
2. 主 管 ・ 墨田区サッカー協会少年部
3. 後 援 ・ 墨田区
4. 後 援 ・ 読売新聞社
5. 競技種別 ・ 学年別による下記の種別
  - ・ 6年生大会・5年生大会・4年生大会（リーグ戦）・3年生大会
  - ・ 各学年とも8人制とする
6. 大会期日 ・ 2019年4月～12月（12月中予備日）のうち、学年による開催予定日
  - ※基本、日曜・祝祭日の開催予定だが、天候等により土曜開催の可能性も有り（少年部会で日程調整、組合せ抽選 場合により代表者会議）
  - ・ 各大会日時は、少年部で随時調整し各クラブへすみやかに連絡を予定
7. 選手資格 ・ スポーツ安全保険等に参加し、少年部への個人登録およびチーム登録をした者
  - ※2年生を大会参加させる場合も個人登録する事
8. チーム登録 ・ 少年部に加盟する団体で、競技種別毎に各クラブ条件を満たしたチームである事（4年生リーグ戦は2チーム以内）
  - ・ 登録1チームにつき、審判員2名（有資格者）を帯同させる事
  - ・ 1チームは選手8名以上で登録し、選手6名で試合は成立する
  - ・ 1チームには、参加する大会に該当する学年が1名以上いる事
    - 例ー6年生大会に、5年生以下の選手だけでチームを登録することは出来ない
  - ・ 1大会に複数チームを登録する場合、各チームには該当する学年の選手が8名以上いること
    - ※4年生大会は最大2チームまでとする
9. 選手登録 ・ 1大会に登録できる学年は、該当する学年と2学年下まで登録できる
  - ※3年生大会においては、1学年下までとする
  - ・ 一人の選手は1大会のみの登録を原則とするが、クラブの責任において、複数の大会に登録することができる
    - ただし1選手の1日の試合数は、2試合（3試合）とし、メンバー表に登録されたものでカウントする
  - ・ 各学年複数参加クラブに於いて、組合せ抽選後のチーム間の選手の入替は認めない
10. 追加登録 ・ 選手の追加登録は各大会の初日第一試合開始30分前まで認める
  - ただし、4年生大会は随時受け付けるが、試合前日までに追加選手記入済の選手登録書を少年部担当役員に提出すること
11. メンバー表 ・ 第1試合出場チームは試合の準備を整えて開始20分前に大会本部前に集合し、メンバー表を提出してメンバーチェックを受ける事
  - ・ 第2試合以降降出場する各チームは前の試合のハーフタイム終了後、試合準備を整えて開始15分前に大会本部前に集合し、メンバー表を提出してメンバーチェックを受ける事
  - ・ IDカードは、メンバーチェック時に確認できるようにする事
  - ・ IDカードが提示できない選手はその試合に出場できない（選手登録申請書類は可）
    - ※チームとしてIDカードが提示できない場合は、試合を没収試合とする
    - 没収試合は学年大会ごとにトーナメント以外最大得点差+1点の不戦敗とする
    - ※紛失等でIDカードが提示できない理由が生じた場合は、前日までに少年部役員に連絡し特例処置を受ける事、試合当日の報告は認めない。

- ・メンバーチェック後は、グラウンド横で待機し、前の試合終了後速やかにベンチに入る事
- ・該当学年の21名以上で登録しているチームは、全選手ベンチ入りできるが、試合に出場出来るのはメンバー表で提出された20名の選手のみとする。出場できない選手のユニフォーム着用は認めない
- ・複数の学年で構成されたチームは、メンバー表どおりベンチ入りを20名までとする

## 12. 競技規定

### (1) 試合形式

- ・各カテゴリーの参加チーム数により数ブロックに分け、各ブロック予選リーグ戦を行い、各ブロックの順位により順位別トーナメント戦を行う
  - ・4年生は総当たりリーグ戦（チーム数により2グループ、順位決定は別途確定）
  - ・各大会 試合時間30分（15分ハーフ）1日3試合可能（選手3試合出場可）等の変更有り
  - ・予選リーグ組合せ抽選は、公平を期す為1クラブからの複数チームが、同一ブロックになっても組合せは考慮しない
  - ・リーグ戦、予選ブロックの順位決定は、勝点制（勝ち3点、分け1点、負け0点）とし、勝点の多い順に順位を決定する
  - ・勝点合計が同一の場合は以下の順序により決める。
    - ①全試合のゴールデファレンス（得点－失点）
    - ②全試合のゴール数
    - ③該当チームの対戦成績。 それでも決しない場合は抽選とする
- ※・予選ブロック内に不戦敗がある場合の順位決定はこの限りではない  
（③の該当チームの対戦成績を考慮して本部で判断する）

- ・トーナメント戦で勝敗が決しない場合、PK方式にて次への進出チームを決める
- ・但し、決勝戦は10分（前後半各5分）の延長戦を行い勝敗が決しない場合はPK方式で勝敗を決める。（PK戦は、3人とする）

※試合会場へ入場のセレモニーは1位トーナメントのみ準決勝から行う

### (2) 試合時間

- ・各学年40分（前後半各20分）とする（※30分前後半15分の場合あり）

### (3) 交代

- ・自由な交代をすることができる（補足参考）
- ・退場者が出た場合は交代要員の中から選手を補充できる事とする

### (4) 処分

- ・試合中退場処分を受けた者は、次の試合1試合に出場できない
- ・大会期間中警告処分を累積2回受けた者は、次の試合1試合に出場できない
- ・その後の対応（懲罰を含む）については役員会で審議し決定する
- ・大会中に不正行為が認められた場合、役員会で審議しその後の対応を決定する

### (5) 試合球

- ・試合球は4号ボール（JFA公認球）とし、ボールは協会で用意する

### (6) 審判

- ・審判（主審1名、副審2名、第4審判1名）は、各チーム2名が担当する
- ・担当審判は試合開始前（前の試合のハーフタイム）に審判打ち合わせを行い、主審・副審などの割り当て等を決めておくこと
- ・責任審判試合は後審判制とするが、第1試合の審判は、第2試合、第3試合の4チーム各1名が担当する。ただし、協会審判員が行う場合はこの限りではない
- ・審判服の上下を必ず着用すること（※審判服は黒色に限る、第四審判を含む）
- ・警告・退場を提示した場合は別途会長宛に審判報告書を提出する
- ・監督・コーチは審判服のままではベンチ入り出来ない（節度ある服装）
- ・ベンチ入り出来る指導者・コーチは5名以上3名以内とする
- ・審判員は担当試合20分以上前に本部へJFA KICKOFFアプリから審判員証（写真付）をプリントアウトしたものを提出する事

- ・審判員証がない場合、（写真無し）は審判には入れない
- ※審判員証の紛失等により審判員証が提出出来ない場合、救済処置としてアプリによる確認を本部にて行う

- ・責任審判ができないときは、役員会を開催し審議の上、クラブに対しペナルティーを与える
- ・主審は試合終了後、速やかに試合記録をメンバー表と共に大会本部へ提出する

(7)その他

- ・日本サッカー協会競技規則及び8人制競技規則による。また大会規定、補足による

13. 表彰式

- ・各学年大会の表彰を合同で行う。
- ・2020年1月\_\_\_日（日）午前10時（予定）

14. 表彰

- ・表彰は、1位トーナメント戦を対象とする。

（協会表彰）

(1) 6年生大会

- ・1位に会長杯貸与。1位から3位までメダル、楯、賞状を授与。
- 4位に楯、賞状を授与。MVP（最優秀選手）にトロフィー、賞状を授与。

(2) 5年生大会

- ・1位に会長杯貸与。1位から4位に楯、賞状を授与。
- MVP（最優秀選手）にトロフィー、賞状を授与。

(3) 4年生大会

- ・1位に会長杯貸与。1位から4位まで楯、賞状を授与。
- MVP（最優秀選手）にトロフィー、賞状を授与。

(4) 3年生大会

- ・1位に会長杯貸与。1位から4位まで楯、賞状を授与。
- MVP（最優秀選手）にトロフィー、賞状を授与。

（読売新聞社表彰）・内容未定

15. 会場責任者

(1) 担当試合

- ・各クラブの会場責任担当者が、割り当てられた試合の記録をする事
- 次の会場責任者へ関係書類等の引継ぎも行う

(2) 担当業務

- ・試合の進行管理、試合記録等の記入と、審判員証の管理、試合終了後の試合記録を主審と共に確認し主審にサインをもらう
- ・必要に応じてグラウンドのラインの引き直し、管理をする

16. グラウンドの設営と撤収

- ・第一試合ホーム側チームが、グラウンド設営とし、ライン引き、ゴールネット点検、コーナーフラグ設置を行う
- 第一試合アウェイ側チームが、会場責任席設営とし、テント、テーブル、椅子を準備する
- ・設営は、第1試合の2チームが試合開始15分前までに行う事
- ・撤収は、最終試合のアウェイ側のチームが行う事
- ・五丁目グラウンドは第一試合・最終試合の2チームが協力して設営・撤収を行う事  
（ライン引き、コーナーフラグ設置、撤収時のブラシかけ、ゴミの処理等）

17. 参加費

- ・4年生大会 1チーム 8,000円
- ・6年生大会 1チーム 6,000円
- ・5、3年生大会 1チーム 5,000円

18. 連絡

- ・天候不順、その他による試合の中止連絡は当日AM7:00頃迄に少年部連絡網にて連絡
- ※日程等は随時協会ホームページで確認する事

## 補足事項

### 注意事項

- ・ 大会開催時における少年部役員は、大会本部（役員席）、会場本部（グラウンド）に担当を置く事とする
- ・ 第1試合のグラウンド練習は、メンバー表とIDカードを大会本部に提出し、チェックを受けた後に主審の指示により行う事  
従って、第1試合の審判と会場責任の方は試合開始20分前までに集合し準備を完了する事
- ・ 第2試合以降の審判の方は、前の試合の前半が終了するまでに会場責任本部（大会本部）に集合して審判打合せを出来るだけ行う事
- ・ 試合状況、チーム状況により審判員が相互に連絡を取って行う事
- ・ 警告、退場を提示した場合の審判報告書は主審が記入して、大会本部に提出する事
- ・ ベンチ内には2名以上5名までの指導員を置く事（テクニカルエリア内のみ）
- ・ 試合中チーム選手へアドバイス（指示）ができるのは、都度1名の指導員（監督 or コーチ）だけとする
- ・ ユニフォームは正副を用意し選択権は、両チームの話し合い又は抽選により決定する
- ・ ユニフォームについては競技規則に準ずるが、試合中FPとGKが交代しユニフォームの背番号が変更される場合は、事前に本部と主審に確認しメンバー表に記入する事（不足の事態はこの限りではない）
- ・ めがねの着用は禁止する。但しスポーツゴーグルの着用は認める
- ・ 万一の事故に際しては出来る限りの応急処置はするが、その後の責任は負わない

### メンバー表 注意事項

- ・ 選手登録書・メンバー表には、引率監督名、コーチ氏名、帯同審判員名を必ず記入する
- ・ 試合に出場できる選手は、先発・交代の合計人数は20名までとする  
⇒それ以外の選手が記入されている場合はその欄を黒く塗りつぶす事
- ・ 背番号の欄は、試合当日のユニフォームの番号を記入すること（抽選時は記入の必要なし）
- ・ メンバー表は1試合に1枚を提出する事（チームへのメンバー表は返却しない）
- ・ 記入事項に間違いがあった場合試合出場できない場合がある

### 審判員・メンバーチェック

- ・ 審判員の確認は大会役員本部で、少年部役員又は審判役員が確認する
- ・ 第1試合の審判員は役員本部へ 20分前 に審判員証の提出をする事
- ・ 審判員証の提示は役員本部で、50分前より受け付けるとする  
※ 50分前とは、コーチが後審の場合 20分前に大会本部提出と選手メンバーチェックが出来ない場合が起こりうるために、自チームの試合開始前に提出可能とする
- ・ 役員本部が無い場合は、その場にいる少年部役員の指示に従う事
- ・ 提出された審判員証とメンバー表は役員が会場本部へ届ける（試合開始前までに）
- ・ チェックの際に注意点があった場合、役員は会場当番へその旨を伝える

### 8人制 申し合わせ事項

- ・ 選手6名で試合は成立し、6名に満たない場合は没収試合とする
- ・ 退場者が出た場合は、交代要員の中から代わりの選手を補充できる
- ・ 交代要員がない場合、両チーム了承の上、選手の数を合わせる事が望ましい
- ・ インプレイ中でも交代ゾーンを使用して自由な交代が出来る
- ・ ゴールキーパーは4審に交代を告げ4審から主審の承認を得てボールアウトオブプレー中に交代する
- ・ 負傷してフィールドから退く場合を除いて、交代ゾーンを使用して退出する。また、交代しないフィールド外にいる選手の再入場は、主審に通知して承認後入場する